

## 総合都市交通計画案を発表

### ～川崎高速縦貫鉄道（地下鉄）は中断

（事務局）

「川崎市総合交通計画」(案)が発表され、3月初旬までパブリックコメントも行われていましたね。

（堀添）

この計画は、2011年3月から検討が始まり、本年1月まで約2年間検討されてきたものです。概ね20年後までに行う交通政策の大枠を決める計画で、鉄道ネットワークや道路ネットワーク、身近な地域交通など多岐にわたります。

（事務局）

この計画にはどのような特徴がありますか？

（堀添）

交通計画というと、どうしても鉄道網や道路網などの基盤整備だけがフォーカスされがちですが、この計画ではバス路線の整備や効率的なダイヤ編成など、交通政策全体が対象となっています。

（事務局）

投資額が大きい川崎縦貫鉄道についてはどうなりましたか？

（堀添）

計画には残りでしたが、取組時期が一番遅い「中長期に着手を目指す事業」となっています。市営地下鉄の整備を主目的に置かれていた特別会計も、先日の市議会で閉鎖が決まりましたので、実質的には中止に近い中断といえるかと思えます。

国の財源を含め、現実的には着工自体が難しい状況でしたので、明確に区切りをつけるということです。少なくとも今後20年間は、川崎市営地下鉄が運行されることはなくなりましたので、市営地下鉄を前提としない交通政策をまとめる必要があります。今回の計画は、そのスタートの位置づけと見ることができます。

（事務局）

ありがとうございました。

※短中期は概ね10年、中長期は概ね20年を想定。



- 1963（昭和38）年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

### 「川崎市総合交通計画(案)」における鉄道ネットワーク整備事業

**A** 短中期に完了をめざす事業

京急大師線連続立体交差事業(小島新田～東門前)

**B** 短中期に着手をめざす事業

京急大師線連続立体交差事業(東門前～川崎大師)  
JR南武線連続立体交差事業(尻手～武蔵小杉)  
小田急小田原線複々線化(登戸～向ヶ丘遊園)

**C** 中長期に着手をめざす事業

川崎縦貫鉄道(市営地下鉄)  
横浜市営地下鉄3号線延伸(あざみ野～新百合ヶ丘)  
東急田園都市線複々線化(溝の口～鷺沼)  
小田急小田原線複々線化(向ヶ丘遊園～新百合ヶ丘)、等

# 川崎市における放射線測定結果(3月25日現在)

浄水場：川崎市内の2か所の浄水場では、毎日放射能測定を行っていますが、一昨年4月22日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも検出されていません。

大 気：公害研究所（川崎区）、麻生大気測定局で、放射線量実態調査を毎月行っており、地上5cm、50cm、100cmとも自然界の放射線レベルの範囲内です。（3月は6日に実施）

市内農産物：果菜類（トマト、きゅうり）、根菜類（さつまいも、大根、玉葱）、果実（梅、梨、柿）の出荷前チェックでは、一昨年5月に梅（セシウム：29.5ベクレル/Kg）、10月に柿（セシウム：4.5ベクレル/Kg）から検出された以外は、検出されていませんでしたが、10月4日のチェックで柿から1.4ベクレル/Kgが、11月20日にはみかんから1.8ベクレル/Kgが検出されました。  
（食品衛生法上の基準値は一般食品100ベクレル/Kg以下）

水道水：不検出

下水汚泥等：入江崎総合スラッジセンター（3月11日測定） 放射性セシウム測定  
脱水汚泥：不検出 汚泥焼却灰：700 Bq/Kg  
（焼却灰は飛散防止処理の上、施設内等で安全に保管されています。）

ごみ焼却灰：橋樑処理センター（3月13日測定） 放射性セシウム測定  
主 灰： 55 Bq/Kg  
飛 灰： 153 Bq/Kg  
排ガス： 不検出  
（飛灰は飛散防止処理の上、臨海部保管施設等で安全に保管されています。）

**放射線測定器の貸し出しを高津区役所でも行っています。  
（電話予約が必要です。044-861-3113）**

連載コラム **川崎と高津の地名（No.8）** 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」  
日本地名研究所編「川崎の町名」

## 「下野毛」の由来

江戸時代には、現在の世田谷区野毛一～三丁目とともに、荏原郡下野毛村の一部でした。村ができた当初は地続きであったと思われませんが、慶安（1650年頃）の時に、蛇行していたため洪水に悩まされ続けてきた多摩川の流れを掘り替えたために、飛地となったようです。

明治22年には東京府に属しましたが、明治45年の府県境界変更により神奈川県に編入され、高津村大字下野毛となりました。

町名は江戸時代の旧村名「野毛」を引き継いだもの

ですが、これは崖をあらわす「ヌキ・ヌケ」の転化したものといわれ、対岸の下野毛一丁目～三丁目に見られる立川段丘の崖のことを指しているようです。この崖は多摩川によってつくられたもので、立川からつづいています。

なお、世田谷区の上野毛と野毛（下野毛）は、もともとはひとつの地域だったようですが、いつごろ二つに分かれたのかは定かでないようです。



## 政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

## 「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169  
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294